

日本郵船健康保険組合 健保だより

<http://www.nykkenpo.or.jp>

- 1 ・平成23年度決算のお知らせ
決算概要
- 2 一般勘定の収支の内訳
- 3 保健事業の内訳／基礎数値
- 4 一般勘定／介護勘定／その他の組合会決議事項

－平成24年8月－

平成23年度 決算のお知らせ

去る7月20日に開催された組合会において、当健康保険組合の平成23年度決算が承認され、決定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

〈決算概要〉

一般勘定

平成23年度決算の一般勘定は、前期高齢者納付金・後期高齢者支援金等の納付金支払額の増加の結果、支出総額が823,827千円となり、保険料収入の732,989千円を大幅に超えました。収入不足を補う為に70,000千円の別途積立金からの繰入れを実施し、収入支出差引額は9,864千円の黒字となりました。

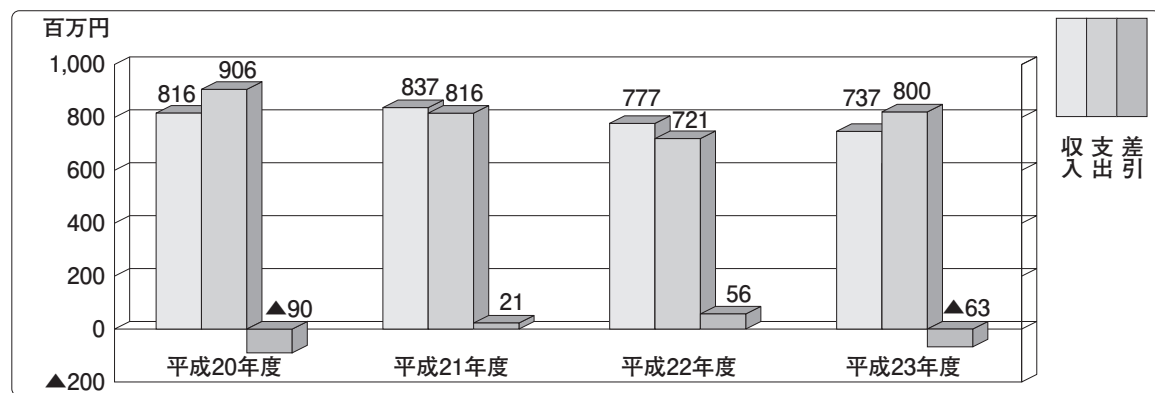
一方、経常収支では経常収入736,820千円、経常支出800,165千円で、経常収支差引額は **図表1** のとおり63,345千円の赤字となりました。

* 健保組合会計において、経常収入は収入総額から調整保険料、繰越金、繰入金などを除いた額、経常支出は支出総額から調整保険料還付金、財政調整事業交付金、予備費などを除いた額で、経常収支差引額は当該単年度の収支状況を表しています。

介護勘定

主な収入となる介護保険料収入が66,889千円で、前年度の繰越金4,500千円を加え、収入合計は71,403千円でした。一方、支出は介護納付金が62,196千円で、収入支出差引額は9,207千円の黒字となりました。

図表1 経常収支の推移（一般勘定）



〈一般勘定の収支の内訳〉

【収入の部】

1. 保険料収入（732,989 千円）

総収入の約 9 割を占める保険料収入は、賞与支給額の減少に伴い、前年度比 37,002 千円減（4.8%減）となりました。

2. 別途積立金からの繰入れ（70,000 千円）

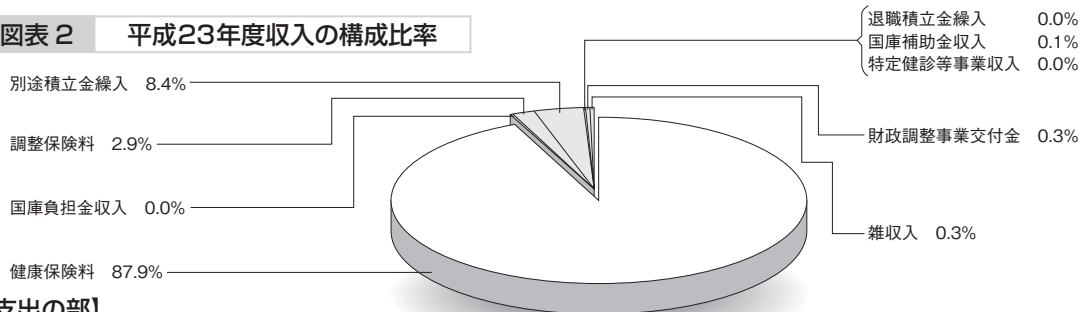
収入不足分を別途積立金からの繰入れで補いました。

3. 総収入（833,691 千円）／経常収入（736,820 千円）

総収入は別途積立金からの繰入れを実施したので、前年度比 27,653 千円増（3.4%増）となりました。一方、経常収入は 40,205 千円減（5.2%減）となりました。



図表 2 平成23年度収入の構成比率



【支出の部】

1. 保険給付費（303,189 千円）

高額医療費及び重篤な医療ケースの数が少なかったため、前年度比 30,018 千円減（9.0%減）となりました。保険料に対する割合は 41.4%となりました。

2. 納付金（391,755 千円）

高齢化並びに先進医療技術の発達による医療費の高額化により、前期高齢者納付金（149,406 千円）・後期高齢者支援金（183,930 千円）等の納付金は前年度比 101,748 千円増（35.1%増）となり、保険料収入に対する割合は 53.5%でした。なお、前年度は 77 百万円の精算金（戻り）があったため、実質は 24,748 千円増（8.5%増）でした。

3. 保健事業費（66,623 千円）：次ページをご覧ください。

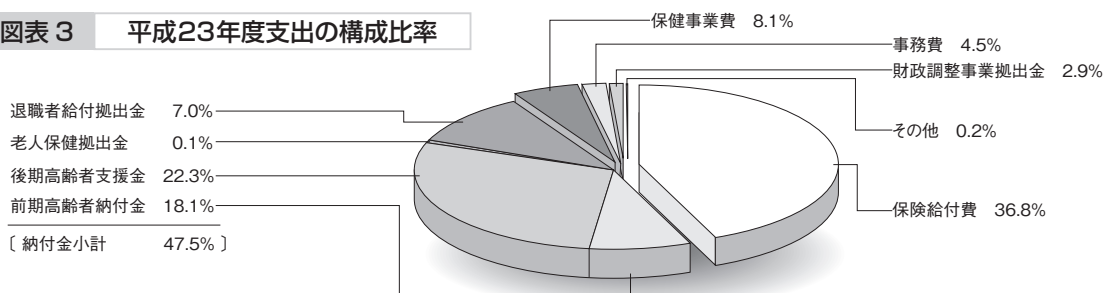
4. 事務費（37,000 千円）

健保組合の運営費用（人件費・需用費等）です。今年度は定年退職予定者の事務引継ぎのため約半年間 6 人体制となり（3 月より 4 人体制に戻りました）、前年度比 4,380 千円増（13.4%増）でした。

5. 総支出（823,827 千円）／経常支出（800,165 千円）

総支出は納付金の大幅増（101,748 千円増）があったため、前年度比 81,710 千円の増（11.0%増）となりました。一方、経常支出は前年比 78,903 千円増（10.9%増）となりました。

図表 3 平成23年度支出の構成比率



後期高齢者支援金：平成 20 年 4 月以降に 75 歳以上の人は、健康保険の被保険者・被扶養者や国民保険の被保険者ではなく「後期高齢者医療制度」の被保険者となります。制度運営の財源は、患者の一部負担を除いて、公費（5 割）、現役世代からの支援金（約 4 割）、被保険者の保険料（1 割）で賄われます。この負担割合は、後期高齢者と現役世代の人口比率の変化に応じて調整されます。

前期高齢者納付金：「後期高齢者医療制度」の創設に合わせて、65 歳から 75 歳未満の前期高齢者については、制度間で医療費の負担に不均衡が生じていることから、これを調整するために「前期高齢者納付金」が創設されました。

両高齢者医療制度とも健康保険組合独自では全く金額を抑制することはできません。

〈保健事業の内訳〉

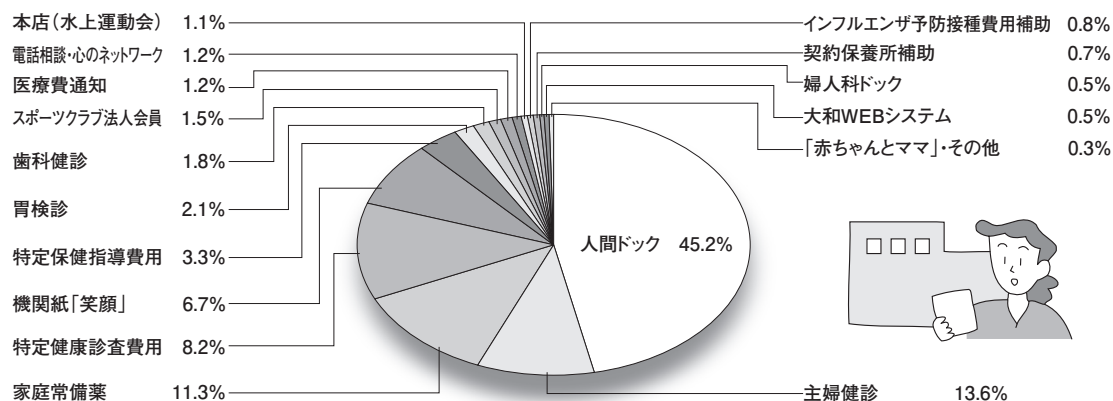
保健事業費は総支出の8.1%を占め、保険料収入に対して9.1%となりました。今年度より特定保健指導の外部委託による特定保健指導事業費が新たに発生し、前年度比2,483千円増(3.8%増)となりました。疾病予防費(50,198千円)は保健事業費の75.3%を占め、その内人間ドック・主婦健診・婦人科ドック・胃健診の健診関連費用(40,934千円)は保健事業費の61.4%を占めています。

納付金負担額、保険給付費の合計が保険料収入の約95%を占める厳しい財政状況の中、疾病予防、健康増進のために保健事業費を効率よく使用することは健保組合の大きな課題です。健全な健保運営に今後ともご協力をいただきますようお願い致します。

保健事業の内容は **図表4** のとおりです。

図表4 保健事業内訳

	事業内容	金額(千円)	構成比率(%)
保健指導宣伝費	機関紙「笑顔」	4,470	6.7
	医療費通知	791	1.2
	大和WEBシステム	323	0.5
	電話相談・心のネットワーク	804	1.2
	「赤ちゃん和妈妈」	80	0.1
	その他	123	0.1
疾病予防費	人間ドック	30,092	45.2
	婦人科ドック	341	0.5
	主婦健診	9,064	13.6
	胃検診	1,437	2.1
	歯科健診	1,178	1.8
	家庭常備薬	7,508	11.3
	インフルエンザ予防接種費用補助	517	0.8
	その他	61	0.1
	その他	61	0.1
体育奨励費	スポーツクラブ法人会員	1,008	1.5
	本店(水上運動会)	749	1.1
契約保養所費	契約保養所補助	441	0.7
特定健康診査事業費	特定健康診査費用	5,449	8.2
特定保健指導事業費	特定保健指導費用	2,187	3.3
合 計		66,623	100.0



平成23年度決算に係る主な基礎数値は以下のとおりです。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
被保険者数	1,438	1,437	1,417	1,414
被扶養者数	1,994	1,920	1,885	1,873
扶養率	1.40	1.34	1.34	1.33
被保険者の平均年齢	42.60	42.47	42.62	42.54
保険料率(%)	52.00	52.00	52.00	52.00

平成23年度決算の一般勘定・介護勘定の概要は次のとおりです。



一般勘定

〔決算残金処分内訳〕

収入合計…………… 833,691 千円
 支出合計…………… 823,827 千円
 決算残金…………… 9,864 千円

別途積立金	9,561 千円
準備金	0 千円
財政調整事業繰越金	303 千円
合計	9,864 千円

収入



科目	決算額(千円)	一人当たり(円)
保険料	732,989	518,380
国庫負担金収入	239	169
調整保険料	23,970	16,952
別途積立金繰入	70,000	49,505
国庫補助金収入	933	660
財政調整事業交付金	2,685	1,899
雑収入	2,875	2,033
合計	833,691	589,598

支出



科目	決算額(千円)	一人当たり(円)
事務費	37,000	26,167
保険給付費	303,189	214,419
前期高齢者納付金	149,406	105,662
後期高齢者支援金	183,930	130,078
退職者給付拠出金	57,976	41,001
老人保健拠出金	443	313
保健事業費	66,623	47,118
保険料還付金	179	126
財政調整事業拠出金	23,656	16,730
連合会費	446	315
その他	979	692
合計	823,827	582,622

介護勘定

〔決算残金処分内訳〕

収入合計…………… 71,403 千円
 支出合計…………… 62,196 千円
 決算残金…………… 9,207 千円

準備金	4,707 千円
翌年度繰越金	4,500 千円
合計	9,207 千円

その他の組合会決議事項

●理事専決処分事項報告及び承認について